

「静大トマト」で起業

少量培地の 技術普及へ



栽培ハウスでDトレイを示す糠谷教授（静岡県藤枝市で）

める。雇用する2人が作業に当たる。同大学と提携しブランドに「静大」を添えるようにした。

静岡県藤枝市にあるトマの栽培ハウスは10坪。糠谷教授が2006年から試験研究をするDトレイを使う。1株分の

培地が250ミリと非常に小さく、軽量なのが特徴。10坪の導入コストは、給液システムを含め300万円程度。培地が少なく水分調整がしやすいため、糖度6、7のMサイズを安定的に生産することができるといふ。

糠谷教授ら農学部教授3人が出資、取締役を務める。雇用する2人が作業に当たる。同大学と提携しブランドに「静大」を添えるようにした。

する。収量は10坪30トを目指す。

20坪まで増やすが、それ以上は増やさず、農家に対する指導もする予定。トマトは県内の総菜業者に出荷し、販売まで行うことで経営として成り立つことを示している。今後はほかの品目でも静大ブランドを広める考えた。